

北斎かわらばん

すみだ北斎美術館ニュース

第13号

平成23年(2011年)6月発行



『すみだ』と『北斎』 — 北斎の描いた

『すみだ』⑥

日本とドイツ連邦共和国(当時はプロイセン)は万延元年十二月(一八六一年一月)に修好・通商・航海条約を結んで以来、一五〇年の長きにわたって友好を深めてきました。それを記念して、様々な日独交流事業が行われていますが、その一つとして、今年の八月にベルリン市で「日独交流一五〇周年記念 北斎展」が開催されます。

北斎生誕の地である墨田区からも版画などを出品しますが、その中には本区に縁のある「富嶽三十六景 隅田川関屋の里」も含まれています。

関屋の里は、当時の寺島村から千住河原辺までの隅田川一帯のことをいいました。現在の墨田区堤通二丁目か

ら足立区千住曙町、千住関屋町にかかるあたりです。画面の右端には高札が見えますが、ほかには人家も見えず、画面全体に緑の草原か田圃しかない、辺鄙な

場所が描かれています。手前から奥へ、大きく蛇行する土手や存在感のある松の木の向こうには、朝焼けの富士山が静かにたたずんでいます。まだ夜の明けきら

ない、穏やかな早朝の景色ですが、そこに早馬が疾走している姿を描き入れただけで情景が一変します。

三人の武士も三頭の馬も、少しずつ姿勢や色彩が異なっていますが、見る人によっては、一組の人馬が映画のコマ落として進んでいるようにも見えるため、疾走感がさらに強調されているともいわれます。

この作品は松の木や土手などのほか、武士たちの衣装や馬体、馬具の細部にいたる部分まで明るい色使いを施しているために、華やかな一枚に仕上がっています。



「富嶽三十六景 隅田川関屋の里」

【発行】
墨田区区民活動推進部
文化振興課
北斎美術館開設担当
(墨田区役所1階)
☎03-5608-6115

【編集協力】
財団法人墨田区文化振興財団
北斎担当

ふれあい協力団体

すみだ



すみだ北斎美術館

北斎作品画像の貸出し

北斎作品をより身近に親しんでいただくため、墨田区が所蔵する作品の写真資料（ポジフィルム）の貸出しを行っています。

教育や学術研究に関する利用のみならず、商用目的にもご利用いただけます。商品の包装紙やラッピング広告、カレンダーや衣料品、インテリア製品などジャンルは問いません。

北斎作品を製品のデザインに活用していただき、付加価値の高いオリジナル商品の開発にお役立てください。

【商用目的による利用料】

一図柄・一用途あたり

◆墨田区内の事業者

カラー 一万円

モノクロ 五千円

◆墨田区外の事業者

カラー 二万円

モノクロ 一万円

【貸出ししている作品画像例】



富嶽三十六景 凱風快晴



富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見

【ご利用案内】

・所定の申込書に利用目的などの必要事項をご記入いただきます。（利用目的が公序良俗に反すると認められる場合は、貸出しできません。）

・「墨田区蔵」とクレジットを明記してください。



利用例（グラス、バスケース、ブックカバー、絵皿、ふろしき）

・原則として、画像の改変はできません。

・貸出し媒体は、ポジフィルム（カラー・モノクロ）です。

【問い合わせ】

（財）墨田区文化振興財団北斎担当

（☎03-3829-4122

日独交流一五〇周年記念

北斎展を開催

日独交流一五〇周年記念事業として、葛飾北斎の展覧会をベルリン市で開催します。肉筆画、版画、版本など約四四〇点（うち墨田区所蔵の作品は、約五十点）により、北斎の画業の全容を紹介します。

【会期】

平成二十三年八月二十六日～十月二十四日（毎週火曜日休館）

【会場】

マルティン・グロピウス・パウ（ドイツ連邦共和国ベルリン市）